



にし



あいちけんりつちくさるうがっこう
愛知県立千種聾学校
つうきゅう たい こう
通級だより 第46号
れいわ ねん がつ か
令和4年11月9日

サマースクール

つうきゅうしどうきょうしつ なつやす がつ にち こうりゅう
通級指導教室では、夏休みの8月19日にオンライン交流サマースクールを
しました。1年生から6年生までの8名がオンライン上で交流を楽しみました。今回
はその様子をお知らせします。

きょうの プログラム



- ①じこしょうかい
- ②O×ゲーム
- ③プールほうこくかい
- ④れんそうゲーム
- ⑤しつもんタイム
- ⑥かんそうはっぴょう
- ⑦ほごしゃタイム

プログラムのなかで気になる項目はありますか？ 一部
ですが紹介しますね。



まず、②O×ゲームの中から、「3月3日は耳の
日、6月6日は補聴器の日、では、人工内耳の
日は9月9日である。Oか×かどちらでしょ
う？」皆さんも考えてみてね！



つぎに③プールほうこくかいについてです。いくつかの質問の中から1つ。「プー
ルから出る合図を教えてください」に旗と音が1人。大きな音が5人。笛1回と
身振りが1人ずつでした。



④が始まるまで休憩がありました。その休憩中に参加者のお気に入りを持ち
寄ってそれぞれ紹介してもらいました。カッコ良く、かわいく作ったレゴ。大
きなカマキリ。ピアノ(演奏してもらいました♪)。かわいいペット。図鑑や本。
紹介しているときのうれしそうなお顔が印象的でした。



④れんそうゲームのお題は、「夏と言えば・・・」。この・・・に入る言葉を考え
ました。みんなが考えそうな言葉を考えてもらいました。いろいろな言葉
が出ましたよ。皆さんも考えてみてね。



⑤しつもんタイムでは、Q:「人工内耳の手術は痛いのか?」A:「麻酔がかかって
いたから痛くなかったよ」Q:「補聴器防水カバーはできないのか?」A:「そのよ
うな話は聞いていないよ、でも、補聴器屋さんに行くことがあったら防水カバー
を作って欲しいことを話していくと、ニーズがあるな、ということで頑張ってく
れるかもしれないね。要望を伝えることは大切だと思うよ」と、答えました
が、完全防水の補聴器が発売されたそうです。(まだ、福祉対応にはなっていません)
Q:「難聴は、生まれつきなの?」A:「6人が生まれつきでした。Q:「飛行機
に乗ったとき、耳が痛くなるのかなあ?」A:「乗ったことがあるけれど、痛くな
かったよ」



⑥かんそうはっぴょうでは、「楽しかった。またやりたい。大丈夫と教えてもらっ
て良かった。たくさん(同じような境遇の)友達がいて安心した。恥ずかしかつ

たけど話せてよかった。」などの声があがりました。



⑦ほごしゃタイムでは、「担任とのコミュニケーションの取り方」「学校の部活動への参加の仕方（外部講師との連携の取り方）」「学校でのロジャーの活用の仕方」が話題になり、それぞれの状況や考えを伝え合いました。

* オンライン交流は、冬休みも考えています。

たいけんがくしゅう 体験学習

9月14～16日体験学習が千種聾学校でありました。今年度は、午前中のみでした。6名が体験しました。体験後の感想です。（上段は児童、下段は保護者）



楽しかった。給食も一緒に食べたかった。また来たい。

わかるまで待ってくれたから勉強は分かりやすかった。

緊張したー。

6年生のお兄さんが遊びに来てくれて、オセロをしたよ。

*大きなスクリーンを見ることで、授業の流れが分かったので、安心して授業を受けられたようです。

*その場その場で言葉について立ち止まり、意味を説明しているのがとても印象的でした。

*透明マスクを先生も児童も着用していることで、相手の口の動きだけでなく表情もよく見えました。（下記：参照）

*授業の進み具合が地域の小学校と大差なかったので、子どもも積極的に取り組んでいました。

*音楽の授業でリコーダーを吹くとき、同じ音を続けて吹くときの息継ぎの仕方を知らなかったようなので、その指導をしてもらえました。

*児童と先生との距離が近いので、信頼関係ができているのが子どもたちの安心感になっていると思いました。

*もっと同じ難聴児と交流できる機会が増えるといいです。



透明マスク着用は、児童の実態を踏まえてクラス、学年によって取り組みは異なります。